|  |
| --- |
| ＜計画変更申請時における留意点＞①計画変更が生じた場合は、原則として、**留学前に**、高等学校等を通じて機構へ本様式をご提出ください。②下記「１　変更内容（１）～（５）」は、機構での再審査対象となります。詳細は、『奨学金等に係る事務手続の手引＜第７期生用＞』のP.26「３-１ 変更申請が必要な場合」をご確認ください。③奨学金金額については、「【様式C】留学計画等登録票」からの増額は認められません。一方で、留学日数等の変更により減額する場合があります。 |

独立行政法人日本学生支援機構 理事長 殿

標記について、以下のとおり申請します。なお、変更内容については、本制度の『第７期 募集要項』第６頁（１）及び同項（２）の要件を満たし、本来の留学計画が続行できることを確認しています。

１　変更内容（該当する変更内容全ての【　】内に○を付けてください）

|  |
| --- |
| ※（４）のみ：こちらも○を付けてくださいオンライン環境下での学修終了後、現地への渡航希望の有無【　　　】有り　　【　　　】無し |

【　　　】(１)留学日程・日数の変更

【　　　】(２)留学先国・地域の変更

【　　　】(３)留学先機関の変更・決定

【　　　】(４)オンライン環境下での学修

【　　　】(５)オンライン環境下での学修終了後の渡航

【　　　】その他：

２　変更前・変更後の留学計画内容（全ての項目をご記入ください）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 変更前 |  | 変更後 |
| ①現地到着日 | 　　年　　　　　月　　　　　日 |  | 　　年　　　　　月　　　　　日 |
| ②活動開始日 | 　　年　　　　　月　　　　　日 |  | 　　年　　　　　月　　　　　日 |
| ③活動終了日 | 　　年　　　　　月　　　　　日 |  | 　　年　　　　　月　　　　　日 |
| ④現地出発日 | 　　年　　　　　月　　　　　日 |  | 　　年　　　　　月　　　　　日 |
| 留学期間（②～③） | 日間　 |  | 日間　 |
| 留学先国・地域 |  | ⇒ |  |
| 地域区分（いずれかに○） |  | (1)北米、欧州、中近東（一部の国を除く） |  | (1)北米、欧州、中近東（一部の国を除く） |
|  | (2)大洋州、中南米、アフリカ、(1)の除外国 |  |  | (2)大洋州、中南米、アフリカ、(1)の除外国 |
|  | (3)アジア |  |  | (3)アジア |
| 留学先機関 |  |  |  |
| 奨学金支給予定金額 |  |  |  |  |  |  |  | 円 |  |  |  |  |  |  |  |  | 円 |

※上記１において「（４）オンライン環境下での学修」を選択した場合、**変更後の内容は、「オンライン環境下での学修のみ」の内容を記載してください**。オンライン環境下での学修終了後の現地への渡航については、改めて本様式を使用して計画変更の手続きをしてください。また、オンライン環境下での学修内容が**応募分野に規定された「活動内容」から外れる場合**は、「オンライン環境下での学修終了後、現地への渡航希望の有無」で必ず**「有り」**を選択してください。

３　変更理由（派遣留学生本人が記入すること）

＜記入時の留意点＞

①計画変更に至る「経緯」を具体的にご記入ください。

②留学の「質」という観点から、応募時の「留学計画書」に記載した当初の目的が、変更後の留学先機関や留学プログラムにおいても担保されることを、具体的にご記入ください。なお、記載内容によっては、別途、機構より理由書等の提出を求める場合があります。あらかじめご了承ください。

③留学先機関や留学プログラム等の変更の場合は、変更後の活動内容を説明するパンフレットの写し等をご提出ください。

|  |
| --- |
|  |
| ※枠内に収まらない場合は、本書式と併せて、変更理由内容を別紙にてご提出いただくことも可能です。 |

（通知番号）　　　　　　　　　　　　　　　（本人署名）

（高等学校等名）　　　　　　　　　 　　　（在籍高等学校等 担当者署名)